

●規制対象となる
プラ製の12品目

コンビニや飲食店

- ・フォーク
- ・スプーン
- ・ナイフ
- ・マドラー
- ・ストロー

宿泊施設

- ・ヘアブラシ
- ・くし
- ・カミソリ
- ・シャワーキャップ
- ・歯ブラシ

クリーニング店

- ・ハンガー
- ・衣類用カバー

義務化 ↓

- 1 提供を有料化
- 2 受け取りを断った人にポイントや景品を渡す
- 3 必要かどうかを聞く
- 4 代替素材に切り替える
- 5 軽量化を図る などの対策

ファミリーマートは3月から、東京都内の10店舗でプラ製のフォークの提供をやめる実験を始めた。代わりに渡すのは「わりばし」だ。実証店でパスタを買った大学生(19)は「不便さを感じない。環境問題に少しでも役立つなら」と話した。

同社は今後、全国約1万6600の店舗で無料での提供をやめる方針だ。実現すれば年間約260万のプラ使用の削減につながるという。

一方、代替品が見当たらないスプーンは、100%植物由来の製品を取り入れる提供を続ける。

各社の対応はまちまちだ。中華料理チェーン「餃子大王」は4月1日から全国の店舗で、持ち帰り客に

12品目 4月から規制

プラスチックごみを減らすため、プラスチックの提供の有料化や代替素材の使用といった対策を義務づける制度が4月1日にスタートする。同日施行のプラスチック資源循環促進法に基づく規制で、スプーンやフォークなど12品目が対象だ。

脱プラ 各事業者の工夫

提供するスプーンとレンゲを有料化(1本5円)する。コーヒーチェーン大手のスターバックスコーヒーショップは、店内の飲食客にはステンレス製のフォークやナイフを渡すよう徹底し、持ち帰り客用は植物由来の製品に切り替える。

環境省によると、国内で廃棄されるプラスチック約820万トン(年間)のうち、12品目の割合は数%に過ぎない。身近な物を規制することで、国民のプラごみ削減の意識を高めた考えだ。

(2022年3月29日 読売新聞夕刊より)

※代替=代わりになるもの

1 記事に出てくる大学生(19)は何を使ってパスタを食べたと考えられますか。記事中からぬき出しましょう。

2 記事の点線部分は、どのようなことを伝えるために書かれたと考えられますか。次の中から最も適切なものを選びましょう。

- ① 制限を設けても、プラスチックごみはほとんど減らないことを示すため。
- ② 制限すると、国内で廃棄されるプラスチックごみを大幅に減らせることを示すため。
- ③ 今回の制限は、飲食店など一部の店が対象だが、今後、他の店に広げることを予告するため。
- ④ 制限することによって、人々の気持ちの変化を期待していると伝えるため。

3 次の事業者(店・会社)が取った対策は、表に示された1~5のうちのどれに当たりますか。分類しましょう。

- A : () ローソンは、プラスチック製のスプーンなどの持ち手部分にあなを開けた製品を使うと発表した。長さも1センチ短くする。
- B : () セブン-イレブンは夏までに、スプーンなどの素材の30%を植物由来にすると発表した。
- C : () 大手ホテルは、カミソリや歯ブラシなどを希望する客だけに渡す形式にした。



規制対象となる
プラ製の12品目

コンビニや飲食店

- フォーク
- スプーン
- ナイフ
- マドラー
- ストロ

宿泊施設

- ヘアブラシ
- くし
- カミソリ
- シャワーキャップ
- 歯ブラシ

クリーニング店

- ハンガー
- 衣類用カパー

義務化 ↓

- 1 提供を有料化
- 2 受け取りを断った人にポイントや景品を渡す
- 3 必要かどうかを聞く
- 4 代替素材に切り替える
- 5 軽量化を図る などの対策

ファミリーマートは3月から、東京都内の10店舗でプラ製のフォークの提供をやめる実験を始めた。代わりに渡すのは「わりばし」だ。実証店でパスタを買った大学生(19)は「不便さを感じない。環境問題に少しでも役立つなら」と話した。

提供をやめる方針だ。実現すれば年間約260トのプラ使用の削減につながるという。一方、代替品が見当たらないスプーンは、100%植物由来の製品を取り入れる。提供を続ける。各社の対応はまちまちだ。中華料理チェーン「餃子の王将」は4月1日から全国の店舗で、持ち帰り客に

減の意識を高めたいと考えた。12品目の割合は数%に過ぎない。身近な物を規制することで、国民のプラごみ削減の意識を高めたいと考えた。

12品目 4月から規制

プラスチックごみを減らすため、プラ製品の提供の有料化や代替素材の使用といった対策を義務づける制度が4月1日にスタートする。同日施行のプラスチック資源循環促進法に基づく規制で、スプーンやフォークなど12品目が対象だ。

脱プラ 各事業者の工夫



提供するスプーンとレンゲを有料化(1本5円)する。コーヒチェーン大手のスターバックスコーヒージャパンは、店内の飲食客にはステンレス製のフォークやナイフを渡すよう徹底し、持ち帰り客用は植物由来の製品に切り替える。環境省によると、国内で廃棄されるプラスチック約820万ト(年間)のうち、12品目の割合は数%に過ぎない。身近な物を規制することで、国民のプラごみ削減の意識を高めたいと考えた。

1 記事に出てくる大学生(19)は何を使ってパスタを食べたと考えられますか。記事中からぬき出しましょう。

わりばし

ファミリーマートはフォークの提供をやめ、代わりにわりばしを渡している、とありますね。

①も間違っているわけではありませんが、制限を設けた最も大きな目的は、後半部分の「意識を高める」ことなので④が正解です。

2 記事の点線部分は、どのようなことを伝えるために書かれたと考えられますか。次の中から最も適切なものを選びましょう。

④

- ① 制限を設けても、プラスチックごみはほとんど減らないことを示すため。
- ② 制限すると、国内で廃棄されるプラスチックごみを大幅に減らせることを示すため。
- ③ 今回の制限は、飲食店など一部の店が対象だが、今後、他の店に広げることがを予告するため。
- ④ 制限することによって、人々の気持ちの変化を期待していると伝えるため。

3 次の事業者(店・会社)が取った対策は、表に示された1~5のうちのどれに当たりますか。分類しましょう。

- A : (5) ローソンは、プラスチック製のスプーンなどの持ち手部分にあなを開けた製品を使うと発表した。長さも1センチ短くする。
- B : (4) セブン-イレブンは夏までに、スプーンなどの素材の30%を植物由来にすると発表した。
- C : (3) 大手ホテルは、カミソリや歯ブラシなどを希望する客だけに渡す形式にした。

Aは、持ち手にあなを開け、長さを短くすることで、使用するプラスチックの「量」を減らしています。軽量化とは軽く、少なくすることです。Bは、植物を使った素材に変更している=代替素材に切り替えた、Cは、希望する人にだけ渡す=必要かどうかを聞く、という対策です。

読んでみよう！

◆ミー太郎のおすすめ記事

牛乳はがぶ飲み！

ストローなしでゴミ削減

海洋汚染などの原因になるプラスチックごみを削減しようと、給食にストローを使わずに飲むことができる紙パック牛乳を取り入れる小中学校が増えている。

飲み口に直接口をつけるタイプで、日本製紙が2年前に開発した。折り目があって開けやすく、これまで東京都や栃木、高知、佐賀県などの学校が採用。今年度から導入した岐阜県安八町立結^{むすぶ}小学校では「慣れれば普通に飲めるし、環境にもやさしい」と子供たちにも好評。

このタイプの商品を販売する江崎グリコによると、年間2500万本のストローが削減できるという。

(2022年5月11日 読売新聞夕刊より)

「脱プラ」につながる取り組みは工夫次第で、

身の回りにまだたくさんありそうですね。

